

i) カメラとマイクの結線(3.5mmジャック形状のIPカメラ)

全体の結線の様子 例-「GJ-IP2723GVF-IR」と集音マイク「CL-77MIC」



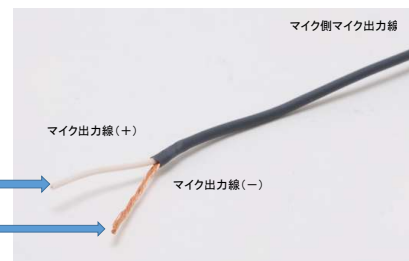
1. カメラ「AUDIO IN」ジャックとマイク線の接続



(1)「3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル」を加工して、片側のLR信号線を撚り合わせ、シールド線と分離させます。



(3)もう片方の加工した線はマイク出力線と繋ぎます。

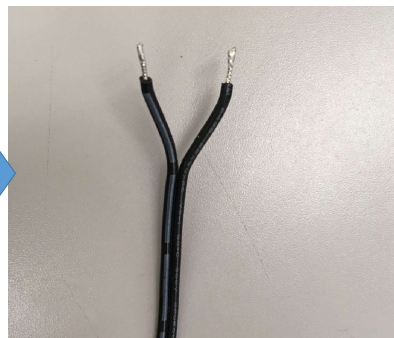


※マイク出力線はバラ線で数十cmの長さしかありません。カメラと接続するために、必要な長さの延長ケーブルと圧着器具を用意してください。

2. マイクの電源線の接続と加工



(1) DC12Vアダプタにプラグが付いている場合はカットします。



(2) DC12Vアダプタの電源線を加工します。



(3) DC12Vアダプタとマイクの電源線を圧着します。

3. IPカメラの音声入力を「MicIn」にします。
IPカメラのWebUIにログイン - 「環境設定」 - 「ビデオとオーディオ」 - 「オーディオ」 - 「音声入力」を「MicIn」にし、最後に「保存」ボタンを押します。

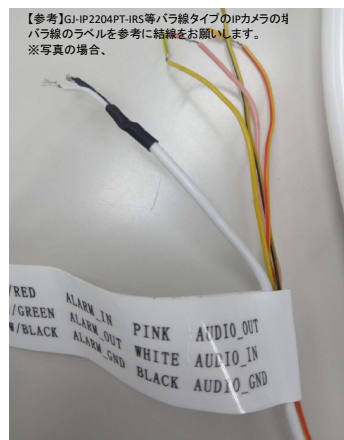


ii)カメラとマイクの結線(バラ線形状の内蔵マイク付きIPカメラ)

全体の結線の様子 例-「GJ-IP2204PT-IRS」と集音マイク「CL-77MIC」



1. カメラ「AUDIO」端子とマイク線の接続

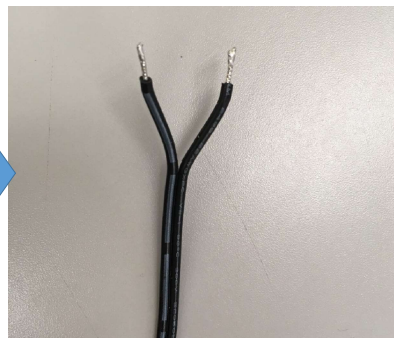


※マイク出力線はバラ線で数十cmの長さしかありません。カメラと接続するために、必要な長さの延長ケーブルと圧着器具を用意してください。

2. マイクの電源線の接続と加工



(1) DC12Vアダプタにプラグが付いている場合はカットします。



(2) DC12Vアダプタの電源線を加工します。



(3) DC12Vアダプタとマイクの電源線を圧着します。

3. <外部マイク利用時>

IPカメラの音声入力を「LineIn」にします。IPカメラのWebUIにログイン - [環境設定] - [ビデオとオーディオ] - [オーディオ] - [音声入力] を「LineIn」にし、最後に「保存」ボタンを押します。



<内蔵マイク利用時>

IPカメラの音声入力を「MicIn」にします。IPカメラのWebUIにログイン - [環境設定] - [ビデオとオーディオ] - [オーディオ] - [音声入力] を「MicIn」にし、最後に「保存」ボタンを押します。



iii)カメラとマイクの結線(端子およびバラ線形状のIPカメラ)

全体の結線の様子 例:「GJ-IP2710VF-IRS」と集音マイク「CL-77MC1」



1. カメラ「AUDIO」端子とマイク線の接続

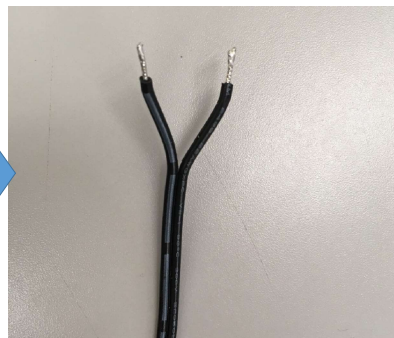


※マイク出力線はバラ線で数十cmの長さしかありません。カメラと接続するために、必要な長さの延長ケーブルと圧着器具を用意してください。

2. マイクの電源線の接続と加工



(1) DC12Vアダプタにプラグが付いている場合はカットします。



(2) DC12Vアダプタの電源線を加工します。



(3) DC12Vアダプタとマイクの電源線を圧着します。

DC12Vアダプタ側
※念のためDC12Vアダプタの極性は
テスタ等で確認をお願いします。

iv)レコーダでの音声の設定 (GUI3.0)

1. [メニュー]-[録画]-[エンコードパラメータ]に進み、[ストリームタイプ]を「映像 & 音声」に変更し[適用]ボタンを押します。
※この設定は[カメラリスト]を選択し、各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。



メインストリーム(スケジュールとイベントは連動して変更されます)



サブストリーム

- (1) 音声を使う対象カメラを[カメラ]リストから選択します。
- (2) メインストリームの[ストリームタイプ]を「映像 & 音声」に変更し、[適用]ボタンを押します。
(スケジュールとイベントは連動して変更されます)
- (3) 「新しい設定は～IPカメラを再起動しますか?」のメッセージでOKを押します。
(スケジュールとイベントは連動して変更されます)
- (4) サブストリームの[ストリームタイプ]を「映像 & 音声」に変更し、[適用]ボタンを押します。
- (5) 「新しい設定は～IPカメラを再起動しますか?」のメッセージでOKを押します。

※各対象カメラごとに繰り返し行います。



メインおよびサブの[ストリームタイプ]切り替え時は、必ず対象カメラの再起動が行われます。

2. [メニュー]-[録画]-[エンコードパラメータ]に進み、[詳細設定]から[音声記録]にチェック(☑)を入れ[OK]および[適用]ボタンを押します。
※この設定は[カメラリスト]を選択し、各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。



- (1) 音声を使う対象カメラを[カメラ]リストから選択します。
- (2) [詳細設定]から[音声記録]にチェック(☑)を入れ[OK]を押します。
- (3) [適用]ボタンを押します。

※各対象カメラごとに繰り返し行います。



上記の設定完了後にレコーダを再起動してください。

再起動後に「音声出力が出来るか?」「録画データに音声が入っているか」確認をしてください。

v) レコーダでの音声の設定 (GUI4.0)

- 画面上部の[カメラ管理]-[ビデオパラメータ]-[メインストリーム]をクリックします。
※この設定は[カメラ]リストを選択し、各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。



ストリームタイプから「映像&音声」に切り替えて適用を押します



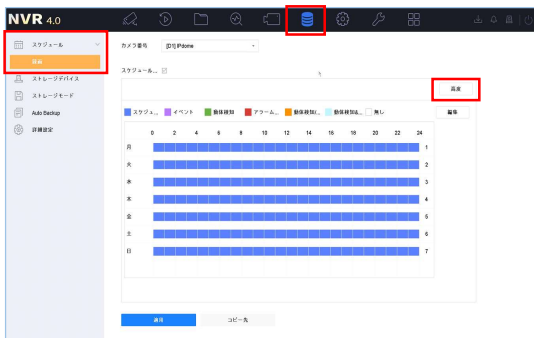
サブストリームの設定

- 音声を取得する対象カメラを[カメラ]から選択します。
- [ストリームタイプ]を「映像&音声」に変更し、適用ボタンをクリックします。
(スケジュールとイベントは連動して変更されます)
- 「新しい設定は~IPカメラを再起動しますか」のメッセージでOKを押します。
- サブストリームの[ストリームタイプ]を「映像&音声」に変更し適用ボタンを押します。
- 「新しい設定は~IPカメラを再起動しますか」のメッセージでOKを押します。

※各対象カメラごとに繰り返し行います。



- 録画データに音声も同時に記録する
[ストレージ]-[スケジュール]-[録画]-[高度]をクリックします



- [音声記録]にチェックを入れて[OK]をクリックします。
※この設定は[カメラ]リストを選択し、各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。

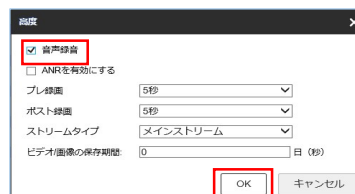


vi) レコーダでの音声の設定 (レコーダのweb管理画面)

- レコーダのweb管理画面へアクセスして[環境設定]-[ストレージ]-[スケジュール設定]の[高度]をクリックします



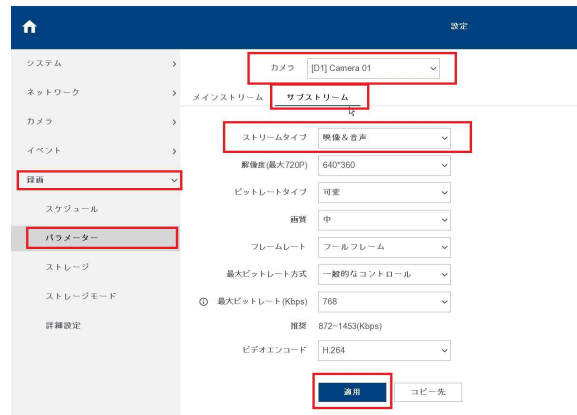
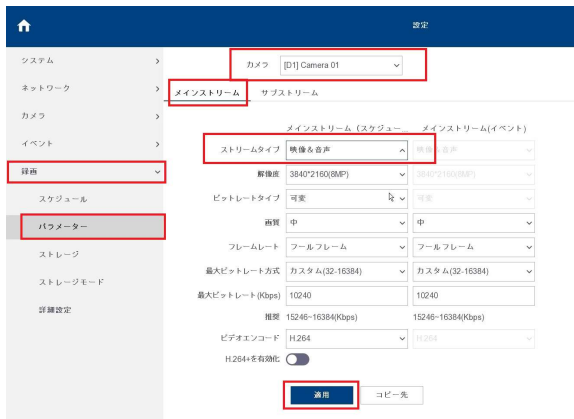
- [音声記録]にチェックを入れて[OK]をクリックする
※この設定は[カメラ]リストを選択し、各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。



上記の設定完了後にレコーダを再起動してください。
再起動後に「音声出力が出来るか?」「録画データに音声が入っているか」確認をしてください。

vi) レコーダの設定(GUI4.0 V4.3)とデザインFW管理画面

- 画面左側の[録画]-[パラメータ]-[メインストリーム]をクリックします。
※この設定は[カメラ]リストを選択し、各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。

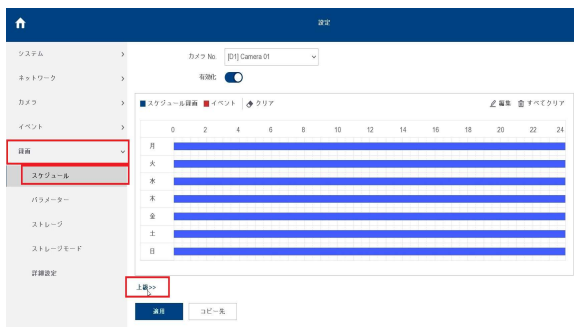


ストリームタイプから「映像&音声」に切り替えて適用を押します。

- 音声を取得する対象カメラを[カメラ]から選択します。
- [ストリームタイプ]を「映像&音声」に変更し適用ボタンをクリックします。(スケジュールとイベントは連動して変更されます)
- 「新しい設定は~IPカメラを再起動しますか」のメッセージで[閉じる]をクリックします。
- サブストリームの[ストリームタイプ]を「映像&音声」に変更し[適用]ボタンをクリックします。
- 「新しい設定は~IPカメラを再起動しますか」のメッセージで[閉じる]をクリックします。

※各対象カメラごとに繰り返し行います。

- 録画データに音声も同時に記録する
[録画]-[スケジュール]-[録画]-[上級]をクリックします。



警告
新しい設定は、リモートIPカメラの再起動後に有効となります。今すぐIPカメラを再起動しますか？

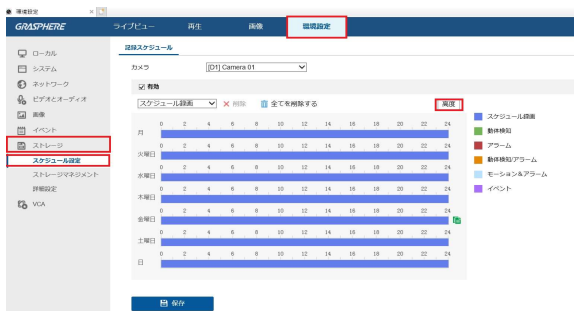


[音声録音]をクリックして[OK]をクリックします。
※この設定は[カメラ]リストを選択し各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。

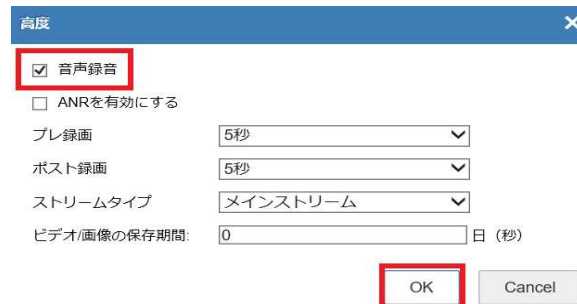


vii) レコーダでの音声の設定(レコーダのweb管理画面)

レコーダのweb管理画面へアクセスして
[環境設定]-[ストレージ]-[スケジュール]-[録画]-[高度]をクリックします。



[音声録音]をクリックして[OK]をクリックします。
※この設定は[カメラ]リストを選択し各対象カメラごとに繰り返し行う必要があります。



上記の設定完了後にレコーダを再起動してください。

再起動後に「音声出力が出来るか?」「録画データに音声が入っているか」確認をしてください。

vii)レコーダでの音声再生の方法

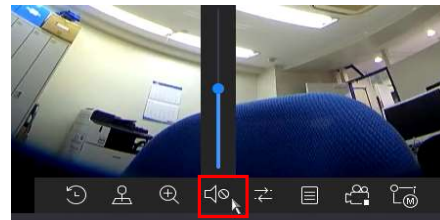
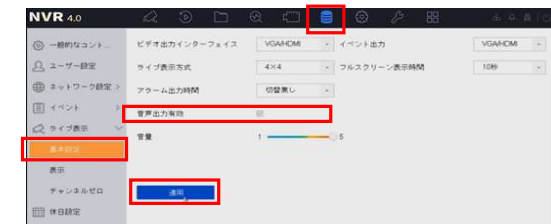
1. レコーダ本体でライブの音声を聞くととき (GUI3.0)

※レコーダには事前に「HDMI接続」(モニタのスピーカー連動すること)か「RCA端子接続」のアンプ付きスピーカーを準備してください。



- (1) [メニュー]-[設定]-[ライブ表示]に進み、[音声出力有効]にチェック(☑)し、(2) ライブビューに戻り、該当カメラをクリックして操作パネルから、[音声有効](スピーカーアイコン)を有効(斜線が無いアイコン)にします。

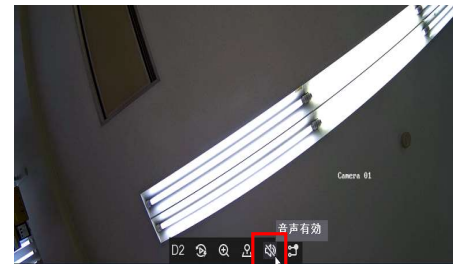
レコーダ本体でライブの音声を聞くととき (GUI4.0)



- (1) [システム設定]-[ライブ表示]-[基本設定]-[音声出力有効]にチェック(☑)を入れて[適用]を押します。

- (2) ライブビューに戻り、該当カメラをクリックして操作パネルから、[音声有効](スピーカーアイコン)を有効(斜線が無いアイコン)にします。

レコーダ本体でライブの音声を聞くととき (グラスファイアデザインFW)

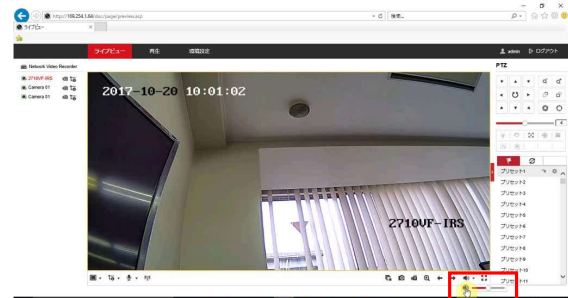
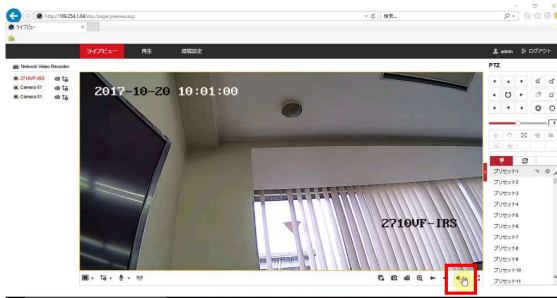


- (1) 設定
チェック(☑)を入れて[適用]を押します。

- (2) ライブビューに戻り、該当カメラをクリックして操作パネルから、[音声有効](スピーカーアイコン)を有効(斜線が無いアイコン)にします。

2. WEB管理画面(IE11)でライブの音声を聞くととき

※お使いのパソコンのスピーカーのミュート(消音)を解除しておいてください。



- (1) ライブビューで対象カメラを選択し、[スピーカーアイコン](画面右下)を押してミュートを解除(アイコンから○が消える)します。

- (2) [ボリュームスライダ]で適切に聞こえるように調整します。

WEB管理画面(IE11)でライブの音声を聞くととき(グラスファイアデザインファーム)

※お使いのパソコンのスピーカーのミュート(消音)を解除しておいてください。

